

谷津田の自然と触れ合って

元島 伸治 あすみが丘小学校教諭

「先生、また行きたいね。」谷津田の自然と出会った子どもたちの素直な声です。

おいしい空気、野鳥のさえずり、一面に広がる緑の景色・・・その中で命をつないでいる植物、小さな生き物たち。そこには、自分たちの心と体もいつしかこの大自然と一体となって、目を輝かせる子どもたちの姿がありました。

あすみが丘小学校5年生80名は、6月7日に、小山町の谷津田を訪れました。4月より社会科の学習で、米づくりについて学んできました。

「実際に稲作農家を訪ね、米づくりに励んでいる農家の方にお話が聞けたらいいな。」と考えていたところ、子どもたちが住んでいる町のすぐ身近にあるということ、このような機会をいただくことができました。千葉県の中でも貴重な棚田を見せていただき、教科書等で習う近代的な機械化による大規模農法と異なる、古来からの手作業中心の稲作を学ばせていただきました。米づくりに励む農家の方に実際に、お話をうかがい、子どもたちにとって、この上ない経験学習になりました。

米づくりの土台となる周囲の自然環境からは、子どもたちの五感にしみいる体験ばかりでした。足下に広がる現代では貴重な植物、湧き水からなる小川には、ザリガニやホトケドジョウ、木イチゴをジャンケンしながら味わう子どもたち・・・

「わあ、でっかい毛虫が歩いてるよ！」目にするもの、耳に聞こえるものすべてが子どもたちにとって新鮮に映ったようです。普段生活している自分たちの町のすぐ隣に、こんな別世界があったかのように、時の流れを忘れながら体験できた一日でした。



地元農家の方に田んぼのお話を聞く

実は、私自身も子どもたち以上に心を躍らせていました。それは、自分が生まれ育った故郷〔信州・飯田市〕とそっくりな自然環境だったからです。小学校時代は、昼間は田んぼでオタマジャクシを捕まえ、夜は蛙の合唱とホタル狩りで過ごしました。あけび、バライチゴ、桑の実はお金のかからないおやつでした。そんな少年時代から、早35年が経過しました。大人になっても、何年たっても、体に染みついた自然の恵みは生涯忘れないものなのだと思えて感じさせてくれました。

それにしても、21世紀になった今でも、谷津田にはそんな日本古来の自然がしっかりと残されているんですね。感動しました。このような素晴らしい自然を守り育てている方々に頭が下がります。きっと、私の教え子である、あすみっ子たちも小山町の谷津田で今回出会った心地よい自然のことは、ずっと忘れないことでしょう。

このような企画を実現させてくださった小山町の農家の方々や谷津田の自然を大切にしてくださっているスタッフの方々に心よりお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

【あすみ小見学会に協力いただいたボランティアの感想】

私がウォーキングコースにしている小山町で、あすみ小の5年生の子どもたちと谷津田の観察を楽しませていただきました。テレビやゲームばかりと思っていた子どもたちの生き生きとした表情は、半世紀前の私とまったく変わりがなく、嬉しく思いました。谷津田で米を作っておられる小山町の人たちと、あすみが丘の住民と一緒に、この貴重な自然を守り、育てていけたらいいですね。 松井三郎（あすみが丘在住）

自然観察にきたどの子どもも目を輝かせて、田植えのお話を聞いたり、「ヘビは？カエルは？」と、興味を持って探したりしている様子を見ることができ、私も楽しく過ごすことができました。 佐藤幸恵（あすみが丘在住）



里山たんけんレポート

第 77 回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告 2006年6月4日(日) 晴れ

久しぶりに晴れて、さわやかな一日でした。畦にはニホンアカガエルの赤ちゃんが、斜面林の川沿いにはオオカワトンボが、何処もかしこも生き物でいっぱいでした。

開花植物: ヒメジョオン、ハルジオン、ハハコグサ、チチコグサモドキ、ウラジロチチコグサ、セイヨウタンポポ、オオジシバリ、オニタビラコ、ノゲシ、オニノゲシ、オオバコ、トキワハゼ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、コマツヨイグサ、シロツメクサ、コメツツメクサ、カラスノエンドウ、オッタチカタバミ、コモチマンネングサ、イヌガラシ、マメゲンバイナズナ、オランダガラシ、ナガミヒナゲシ、ケキツネノボタン、タガラシ、ツメクサ、ミミナグサ、オランダミミナグサ、ノミノフスマ、ウシハコベ、アレチギシギシ、ドクダミ、キシウブ、ナルコユリ、ツユクサ、イヌムギ、スズメノカタビラ、カモガヤ、クサヨシ、ヒエガエリ、スズメノテッポウ、シマスズメノヒエ、チガヤ、スイカズラ、ガマズミ、エゴノキ、ナワシロイチゴ、ウツギ

野鳥: アオサギ、ウグイス、ヒヨドリ、セグロセキレイ、シジュウカラ、スズメ、ホトトギス。
昆虫: オオカワトンボ、シオヤトンボ、ヤマサナエ、モンシロチョウ、コジャノメ、ヒメジャノメ、ヒメウラナミジャノメ、サトキマダラヒカゲ、カタテハ、ダイミョウセセリ、アカスジシロコケガ、タケカレハ幼虫、ドクガ幼虫、マメドクガ幼虫、スゲドクガ幼虫、テントウムシ、コガタルリハムシ、クワハムシ、イチモンジカメノコハムシ、コメツクムシ sp、コフキゾウムシ、ハスジカツオゾウムシ、ゾウムシ sp、キマワリ、ゴミムシ sp、ツチイナゴ、ヒメギス幼虫、オオスズメバチ、ハナアブ、シマハナアブ、キヒゲアシブトハナアブ、アワフキムシ sp、オオヒラタシデムシ、チャバネアオカメムシ、マルカメムシ、ホソハリカメムシ、ホシハラヒロヘリカメムシ、ツチカメムシ、ヒメクロオトシブミ揺籃、ゴマダラオトシブミ揺籃

その他: ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエルとオタマジャクシ、メダカ、フナ、ドジョウ、マルタニシ、オオタニシ、カワニナ、ヒメモノアラガイ、ウスカワマイマイ

(参加者 大人6名、小人1名; 報告: 網代春男)

第 61 回 下大和田 YPP「古代米の田植えと田の草取り」 2006年6月25日(日) くもり

雨が降りそう! まずは草取りが大変! 参加が少ないのでは? と始まるまで不安いっぱいでしたが、さすが YPP でまず天気は OK。田んぼの雑草は事前に連日通って下さったメンバーがきれいに取ってくれたお陰で、すぐに田植えに取りかかれるようになっていました。そして、参加者の方は初めての方を含めて大勢駆けつけてくれ、田植えがどんどん進みました。午前中には古代米田んぼとマイ田んぼの半分が終わり、午後は残りで大塚さんの田んぼ。足が抜けなくなるのでは? と思うくらい深い場所があって、難儀することもありましたが 4 時ごろには全部植え終えることができました。皆さん、お疲れさまでした。昨年よりも倍に増えた田んぼでの稲の生長が楽しみです。子どもたちも大勢参加しましたが、田植えにはノータッチ。ザリガニ採りに泥だんごづくり、みそ汁づくりのストーブで火遊びと 1 日、思い思いにとても楽しそうに遊んでいました。特別な遊具がなくても、やっぱり谷津田はプレーランドですね!



(参加者 大人 20 名、幼児 3 人、小・中学生 6 人; 報告: 高山邦明)

下大和田 季節のたより

- 6月13日(火) 縁のホタルブクロが咲き始める。草取り中にクサガメがでてきた(網代)
- 6月14日(水) クヌギの樹液にはサトキマダラヒカゲに代わってヒカゲチョウが多くなってきた。コクワガタも3匹(網代)
- 6月17日(土) 田んぼにはコチドリが来ていた(網代)



第11回 小山町自然観察会と古代米の田植え 2006年6月18日(日) くもり

雨を覚悟して小山町へ行ったのですが、天気予報がうまくはずれてくれて雨なしで空は明るくひと安心。まずは観察と田起こしのグループに分かれ、観察グループは栗の花に集まるいろいろな虫をじっくり観察したり、昆虫少年君が補虫網で採った虫を見たり、1時間ほど谷津を散策しました。田んぼからたくさんのアキアカネが次々と羽化しているのは感動的でした。田起こしチームの活躍でついに予定した田んぼの開墾が終了！おおよそ150平方メートルの四角い田んぼが復活し、5月にコシヒカリを植えた残りのスペース(全体の約半分)に緑、黒、赤の古代米を植えました。最後の最後に急に強い雨に降られみんなずぶ濡れになってしまいましたが、その前に泥んこになっていた子どもたちも完成した田んぼに満足な大人も顔はにこにこ。楽しい田んぼの作業でした。去年の秋に開墾をはじめた頃はその大変さに「ひと坪田んぼでいいから...」くらいの気持ちだったことを考えると、ここまで田んぼを復活できたのは大きな成果です。周辺にはまだ広い放棄田が残っていますが、少しずつ復田していきたいと思います。



大人も子どももみんなでにぎやかな田植えです。

開花植物：イヌガラシ、オオジシバリ、オニノゲシ、カタバミ、ケキツネノボタン、コモチマンネングサ、シロツメクサ、セイヨウタンポポ、ツユクサ、ドクダミ、ハハコグサ、ハルジオン、ヒメジョオン、ホタルブクロ、クリ、スイカズラ、テイカカズラ
野鳥：ウグイス、カケス、カルガモ、コゲラ、サシバ、シジュウカラ、ツバメ、ヒバリ、ヒヨドリ、ホオジロ、ホトトギス
昆虫：ノシメトンボ(羽化)、アキアカネ(羽化)、カワトンボ、シオヤトンボ、シオカラトンボ(羽化)、オオシオカラトンボ(羽化)、カノコガ、ベニシジミ、ルリシジミ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、キチョウ、ドロオイムシ、シリアゲムシ、ニセアオカミキリ、アワフキムシ、ヒメアシナガコガネ、ホシハラピロヘリカメムシ、カメムシ類、ハムシ類
その他：アカガエル(幼)、アマガエル(幼・声)、シュレーゲルアオガエル(声)、コガネグモ、ナガコガネグモ、オオシロカネグモ、サツマノミダマシ、アシナガグモ、ドウヨウオニグモ

(参加者 大人9名、小学生8人；報告：高山邦明)

小山町 季節のたより

- 6月2日(金) 深夜、フクロウの鳴き声。アオバズク？(松下)
- 6月3日(土) 田んぼの畦にたくさんのちびアカガエル。スイカズラの花が甘い香りを放ち、キイチゴがおいしそうな実をつけていた。(高山)
- 6月5日(月) ホタル調査はじめる。ヘイケボタルが飛びはじめる。(加藤)
- 6月7日(水) あすみ小の観察会ではホトケドジョウやニホンアカガエルなど谷津田ならではの生き物が姿を現わしてくれた。(金谷)
- 6月10日(土) 斜面林でホタルブクロ、畦ではツユクサが咲き始める。コガネグモ、ナガコガネグモ、サツマノミダマシなど夏のクモが登場。(高山)
- 6月19日(月) サシバが上空を20分以上も鳴きながら旋回。他に数匹の鳥の姿もあり、警戒？巣立ち？(松下)
- 6月22日(木) スイレン池の周りでコシアキトンボが飛び始める。(松下)
- 6月23日(金) ホタル調査。ヘイケボタルが合計100匹近く乱舞し、魅せられる。(今井)
- 6月24日(土) 早朝の田んぼからたくさんのアキアカネが羽化。(高山)



田んぼからアカトンボの仲間が次々と旅立っていきます。写真のアキアカネは夏を涼しい高原で過ごし、秋になると赤く色づいて田んぼに帰ってきます
(6月18日 小山町にて、高山)



コガネグモは梅雨の頃の代表的なクモです
(6月17日 小山町にて、高山)

* 田んぼや畑は地元の方の大切な私有地です。観察会以外にむやみに立ち入らないようにしましょう。また、貴重な動植物の捕獲、採取は控えてくださいますよう、ご協力をお願いします。動植物の移入も厳禁です。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPの活動は大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター(TEL&FAX:043-223-7807 E-mail:hello@ceic.info/)

ご注意: ・車で来られる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などに置かないで下さい。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。

・季節柄、たっぷりの水や帽子など十分な暑さ対策でお出かけ下さい。

第12回 小山町自然観察会

小山町で観察を始めて1年になります。すこしずつですが、休耕田を耕したり、整備したりして、いろいろな生き物と出会える機会が増えました。クワガタやカブトムシ、オニヤンマなどが姿を現わしにぎやかな夏を迎えます。田んぼの稲もずいぶん成長しています。ぜひ、見にいらして下さい。

日時: 2006年7月16日(日)10:00~12:30 *小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 ピオトープ予定地(当日、集会所前に案内を出します)

持ち物: 長靴、着替え、ゴム手袋、軍手、虫・魚採り網など

参加費: 100円(保険・資料代など)

第62回 YPP 谷津田プレーランドプロジェクト「田んぼの生きものとあそぼう！」

夏真っ盛り。オニヤンマ、カブトムシ、クワガタムシ・・・昆虫少年・少女にはたまらない季節です。往年の昆虫少年も集まって、虫やザリガニ、魚を捕まえたり、捕まえた生きもので遊んだり、暑さを吹き飛ばして元気いっぱい遊びましょう！

日時: 2006年7月30日(日)10:00~14:00 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、敷物、長靴、軍手、虫・魚採り網など

参加費: 300円(保険・資料代など)

主催: ちば環境情報センター(ホームページ <http://www.ceic.info/>)

共催: ちば・谷津田フォーラム(ホームページ <http://yatsuda.2.pro.tok2.com/>)

第79回 下大和田8月の谷津田観察会とごみ拾い

今年孵ったメダカがたくさん泳いでいる頃です。田んぼの生き物を見たり、カブトムシやクワガタムシなど林の生き物を見て歩きます。

日時: 2006年8月6日(日)10:00~14:00 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 中野操車場バス停に10:00(同上)

持ち物: 筆記用具、弁当、水筒、長靴、帽子、敷物、軍手、ゴミ袋など

参加費: 300円(保険・資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム

共催: ちば環境情報センター



編集後記: ・アシ原がついに田んぼに復活し、コシヒカリや古代米の田植えが終わりました。田んぼから早くもカエルが生まれ、トンボが産卵しています。そして、あすみ小学校の子どもたちが生きものを観察しにやってきてくれました。復活した田んぼを中心として生まれたつながりを大切にしたいです。(高山)

・観察会にきてくれている小学生が小山の魅力を先生に話してくれたことがきっかけで、80人の5年生がきました。子どもたちの喜んだ顔が忘れられません。来月は別の小学校から120人がやってきます。地元の方にはご迷惑おかけいたしますが、よろしくお願いたします。(松下)